

【ニューロンゲ工業】

藤岡工場にて、家族のための
ファミリーデー工場見学ツアーを開催！

包装機械メーカー、ニューロンゲ工業(東京都葛飾区白鳥。長保行社長)は、3月29日(出)、同社の藤岡工場(栃木県栃木市)を開放し、工場や本社社員の家族を招待する「工場見学イベントツアー」を行った。

概要

同社では2022年10月の喜多方工場を皮切りに、各主要工場主催で目的別イベントを行っており、家族向けのイベントとして、社内でも人気となっている。

このイベントは、仕事に対するモチベーションの向上、家族とのコミュニケーションの充実、社内交流、会社の方針の共有など多様な効果がみられる、社員のエンゲージメント育成の一環としても積極的に活用している。

イベントの企画・運営は、昨年発足した藤岡工場の5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)委員を中心としたイベントチームが主体となっている。彼らを中心に、3か月に及ぶ入念な打ち合わせで準備を実施。工場内を加工、組立、塗装、ミシンの4つのセクションに

分け、それぞれの業務内容や扱う製品について紹介しながら、子どもから大人まで楽しんで職業体験できるアトラクションを実施するツアーを組み立てている。

受付ではバルーンアート製作ができる社員が風船で出迎える。子どもたちのワクワク感が高まったところでツアーが開始される。



最初に訪れるのは「塗装」セクション。入場口をくぐると、天井から吊るされた美しい傘の装飾に、誰もが心を奪われる。ここでは機械本体や部品、ミシンなどの塗装を行っており、塗装技術や方法についてプレゼンテーションがある。カラフルなフォトスボ

ットや塗料の代わりに水を使用した塗装体験に、大人も子どもも夢中になる。

「加工」セクションでは、部品加工に使う機械をメインに展示。実際に機械でどのような加工ができるのか、ビデオやパネルを使って説明を行ったり、レーザー加工機で名入りのキーホルダーを製作したり、五面加工機を稼働させてのデモンストレーションが行われる。

「組立」セクションでは藤岡工場で製造する自動包装機を展示。紙袋に内容物を充填して袋とじをする工程を説明したり、大きな機械を動かして同社の製造技術をアピールする。また、参加者はボタンを押して機械を稼働するシミュレーションの体験をしながら、自動包装機の仕組みを学ぶことができる。

最後に訪れる「ミシン」セクションでは、ニューロンゲ工業創立のきっかけとなった工業用ミシンを多数展示。人形を使ってのユニークな見せ

方や、巨大な糸通し装置など、ミシンについての興味を引く仕掛けが会場のあちらこちらに仕掛けられている。

当日は18家族総勢92人が来場し、案内役と一緒に4セクションをツアー形式で巡回。機械製造工場がテーマパークとなり、全員が夢中になって楽しんだ。

【参加者の声】

「主人が加工部門に勤務しています。毎日家族のために働いてくれている場所を見たいと思い、参加致しました。工場が製造に使われている包装機が動くのを見て、非常に感動しました。また、息子夫婦も一緒に見学し、家族でいろいろな話ができ、とても



塗料の代わりに水を使って噴射器で射撃する塗装体験

良い経験となりました」(藤岡工場加工・ご家族)

「藤岡工場とは毎日のように業務でかかわっているのですが、想像を超えるイベントに驚かされました。

現場で実機に触れたり、生の声を聞くことで非常に良い刺激となりました。特に、ミシン部での糸通しの説明が分かりやすく、勉強になりました。自社の製品についての知識が深まったと感じます」(本社・国際営業部)

栗原智男工場長「今回、藤岡工場では初めての工場見学イベントでした。段取りする中で、各セクションでの見せ方については自分たちで決定、実行したのですが、どのセクションも創意工夫を凝らし、想像を超える出来栄に圧倒されました。また、ご参加頂いた皆様から「素晴らしい」「た」という感想をたくさん頂戴し、社員全員を誇らしく思っています。

このような業務外の取り組みを行うことで新しい発見もあり、今後の取り組みにも活かしていきたいです」

【藤岡工場概要】

▽設立 1961年 ▽規模 5454㎡ ▽設置数 15台 ▽マシン系10台、手動機械系15台、レーザー切断機1台、シヤリング機(切断)1台、曲げ機1台、溶接機4台 ▽製造物 自動充填包装機等

工業用ミシンの糸通しチャレンジ



ショーケースに整列したミシン部品を眺める親子



レーザー加工機で、自分の名入りキーホルダーを製作

